

事業概要

- 所在地：高崎市箕郷町松之沢
- 地区名：はるな郷A地区
- 事業内容：防護柵
- 全体事業費：約4億円
- 事業期間：令和元年度～令和6年度（6年間）
- 保全対象：要配慮者利用施設3施設
人家13戸（うち特別警戒区域3戸）

防護柵とは、
斜面から崩れ落ちる土砂を、鋼杭とフェンスで受け止め、被害を防止するものです。

どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスク被害を軽減するため

防護柵を
つくります



- ・台風時には、落石や土砂が流れ出ることが多いため心配だった。（地元区長）
- ・入所者は施設外への避難が困難なため、大雨時など不安だ。（施設職員）

成果を示す項目	実施前
保全される要配慮者利用施設	0施設
保全される人家	0戸



実施後（目標）
3施設
13戸

実施前

- ◆斜面が急であるため、がけ崩れによって施設が被災するおそれがあります。



事業前の状況

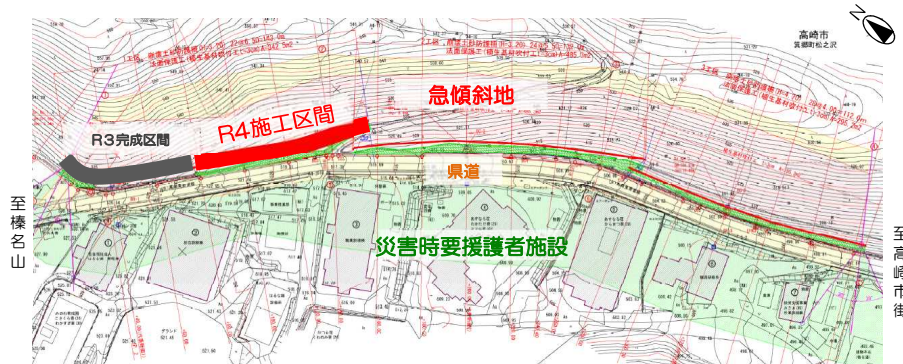
実施後

- ◆防護柵により、崩壊した土砂や落石を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



完成後の状況(イメージ)

事業の進捗状況（R4年3月現在）



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和3年度は、崩壊土砂防護柵工事を行いました。令和4年度は引き続き工事を行います。

